

令和7年度へき地医療支援計画(案)について

	主な支援事業	令和7年度実施計画案	令和6年度実績(12月末現在)	令和5年度実績
I 医師等確保支援	(1) 自治医科大学によるへき地勤務医師養成(昭和47年開始)	・東京都 1～6年在籍数 14人(見込み)	・東京都 1～6年在籍数 14人	・東京都 1～6年在籍数 14人
	(2) 自治医科大学卒業医師(義務年限内)の派遣・研修	・へき地町村派遣 10人 / 都立病院等研修他 13人	・へき地町村派遣 8人 / 都立病院等研修他 13人	・へき地町村派遣 9人 / 都立病院等研修他 11人
	(3) へき地勤務医師等確保事業(平成6年事業開始) ・へき地医療対策協議会	・事業協力病院 10病院 / 派遣人数(医師・歯科医師) 15人 ・協議会:年間1～2回程度開催予定 ・島しょ地域リハビリテーション検討部会:年1～2回程度開催予定	・事業協力病院 10病院 / 派遣人数(医師・歯科医師) 15人 ・へき地医療対策協議会 開催回数 0回(2/12第1回開催予定) ・島しょ地域リハビリテーション検討部会 2回(5/27第1回、7/8第2回)	・事業協力病院 10病院 / 派遣人数(医師・歯科医師) 17人 ・開催回数 2回(8/2 第1回、2/7第2回)
	(4) へき地診療所勤務医師等給与費補助	・予算額 206,820千円(八丈町除く10町村)	・予算額 204,342千円(八丈町除く10町村)	・実績額 210,349千円(八丈町除く10町村)
	(5) へき地産科医療機関運営費補助	・予算額 30,644千円(大島町、八丈町)	・予算額 32,763千円(大島町、八丈町)	・実績額 28,670千円(大島町、八丈町)
	(6) 市町村公立病院等医師派遣事業(平成21年度開始)	・予算額 35,408千円(大島町、新島村、神津島村、八丈町)	・予算額 35,408千円(大島町、新島村、神津島村、八丈町)	・実績額 29,840千円(大島町、新島村、神津島村、三宅村、八丈町、奥多摩町)
	(7) 東京都地域医療支援ドクター事業(平成21年度開始)	・支援勤務 4名、研修 3名	・支援勤務 5名、研修 6名	・支援勤務 5名、研修 8名
	(8) 東京都地域医療医師奨学金(特別貸与奨学金)	・特別貸与奨学金新規被貸与者 23名(予定)	・特別貸与奨学金新規被貸与者 25名	・特別貸与奨学金新規被貸与者 25名
	(9) 東京都へき地医療支援機構無料職業紹介事業所(平成21年2月開設)	・広報媒体の活用、イベント参加等	・広報媒体の活用、イベント参加等	・求職登録(新規)8件、紹介(常勤)1件、内定(常勤)1件、採用(常勤)0件、短期派遣21件
	(10) 島しょ看護職員定着促進事業(平成26年度開始)	・出張研修、短期代替看護職員派遣	・出張研修5回実績(新島村、神津島村、三宅村、八丈町、小笠原村、御蔵島村)※1回現地開催、4回Web開催 ・短期代替看護職員派遣6回実績(新島村、神津島村、八丈町)	・出張研修6回実績(利島村、新島村、神津島村、三宅村、八丈町、小笠原村)※2回現地開催、4回Web開催 ・短期代替看護職員派遣8回実績(新島村、神津島村、八丈町)
	(11) 島しょ地域医療従事者確保事業(平成30年度開始 ※包括補助・選択事業)	・予算額 1,742千円(大島町、神津島村、三宅村)	・予算額 2,192千円(大島町、三宅村、小笠原)	・実績額 0円
	(12) へき地医療機関派遣労働者向け事前研修事業(令和3年度開始)	・予算額 462千円	・受講生2名、へき地勤務2名	・受講生8名、へき地勤務8名
II 体医連携支援提供	(1) へき地専門医療確保事業	・予算額 68,290千円(全へき地町村) ※R6に拡充した「遠隔連携診療支援」を継続	・予算額 68,431千円(全へき地町村) ※メニューを拡充し、「遠隔連携診療支援」を新設	・実績額 58,897千円(全へき地町村)
	(2) 人工透析医療運営事業	・予算額 4,200千円(三宅村、神津島村)	・予算額 2,100千円(三宅村)	・実績額 2,100千円(三宅村)
	(3) 小笠原村診療所運営事業	・予算額 16,126千円(小笠原村)	・予算額 16,126千円(小笠原村)	・実績額 16,126千円(小笠原村)
	(4) へき地診療所施設整備費補助	・該当整備案件なし	・該当整備案件なし	・実績額 18,054千円(三宅村、小笠原村)
	(5) へき地診療所医療機器整備費補助	・予算額 48,753千円(新島村、神津島村、御蔵島村、小笠原村、檜原村、奥多摩町)	・予算額 46,241千円(大島町、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、小笠原村、奥多摩町)	・実績額 50,928千円(大島町、利島村、新島村、神津島村、御蔵島村、小笠原村、檜原村、奥多摩町)
	(6) へき地産科医療機関設備整備補助	・予算額 484千円(八丈町)	・予算額 10,857千円(八丈町)	・実績額 0千円(整備実績なし)
	(7) へき地患者輸送車運営費補助	・予算額 573千円(奥多摩町)	・予算額 573千円(奥多摩町)	・実績額 154千円(奥多摩町)
	(8) 市町村公立病院運営事業	・予算額 228,858千円(八丈町、奥多摩町)	・予算額 228,443千円(八丈町、奥多摩町)	・実績額 203,339千円(八丈町、奥多摩町)
	(9) 市町村公立病院整備事業費償還補助	・予算額 39,746千円(八丈町)	・予算額 39,746千円(八丈町)	・実績額 39,746千円(八丈町)
	(10) 国民健康保険診療施設整備費補助	・予算額 2,016千円(八丈町)	・予算額 1,100千円(奥多摩町)	・実績額 0千円(整備実績なし)
	(11) 災害時における医療提供体制整備の支援	・広域災害救急医療情報システム(EMIS)の運用、入力訓練の実施	・広域災害救急医療情報システム(EMIS)の運用、入力訓練の実施	・広域災害救急医療情報システム(EMIS)の運用、入力訓練の実施
III 診療支援	(1) へき地勤務医師不在時の代診医の派遣 ・(地独)東京都立病院機構と派遣協定を締結(令和5年度開始)	・要請に対応した派遣の実施 ・予算額 3,602千円	・派遣要請件数 39件/ 対応件数 39件 派遣日数 234日 (内訳:義務年限医101日、支援ドクター5日、都立病院(旧公社含む) 50日、登録医師 78日) ・予算額 3,785千円	・派遣要請件数 56件/ 対応件数 56件 派遣日数 341日 (内訳:義務年限医 101日、支援ドクター28日、都立病院(旧公社含む) 82日、登録医師 130日) ・実績額 2,623千円
	(2) 三者協定に基づく島しょ地域の救急患者搬送体制 ・東京消防庁夜間救急ヘリ運航開始(H13.4～) ・「東京型ドクターヘリ」名称での運用開始(H19.11.27～) ・広尾病院屋上ヘリポートの夜間運用開始(H20.3.1～) ・米軍施設赤坂プレスセンター平日のみ利用開始(H20.4.1～) ・米軍施設赤坂プレスセンター土日祝日利用開始(H24.1.1～) ・海上自衛隊厚木基地に急患搬送用医療資器材を寄託(H20.4.18～) ・東京都と海上自衛隊との協定締結(H20.7.1～) ・東京都と海上保安庁との協定締結(R3.3.29～)	・予算額 12,492千円(ドクターヘリ協力病院謝金・貸与機器等更新)	・予算額 6,193千円(ドクターヘリ協力病院謝金・貸与機器等更新)	・実績額 7,768千円(ドクターヘリ協力病院謝金・貸与機器等更新)
	(3) ヘリコプター等添乗医師等確保事業補助	・予算額 4,045千円(全島しょ町村)	・予算額 4,130千円(全島しょ町村)	・実績額 2,968千円(全島しょ町村)
	(4) 画像電送システムによる診療支援(H6～) 令和7年度更新予定 (広尾病院と島しょ町村診療所等間に画像電送システムを設置) ※平成23年8月から小笠原海底光ファイバーケーブル敷設による画像電送システム運用開始	・予算額 3,164千円(局、広尾病院)	・予算額 5,717千円(局、広尾病院)	・実績額 5,604千円(局、広尾病院)
	(5) 医療用画像電送システム運営事業補助	・予算額 38,998千円(全島しょ町村)	・予算額 11,248千円(全島しょ町村)	・実績額 10,506千円(全島しょ町村)
	(6) 多職種連携の推進	・ウェブ会議システムを活用した退院支援カンファレンス等の実施(予定) ・ウェブ会議システムを活用した研修の実施(予定) ・冊子「伊豆諸島・小笠原諸島 各島の医療介護資源」の作成	・ウェブ会議システムを活用した退院支援カンファレンス等の実施(広尾病院11回) ・ウェブ会議システムを活用した研修の実施(広尾病院11回) ・冊子「伊豆諸島・小笠原諸島 各島の医療介護資源」の作成	・ウェブ会議システムを活用した退院支援カンファレンス等の実施(広尾病院7回) ・ウェブ会議システムを活用した研修の実施(広尾病院13回) ・冊子「伊豆諸島・小笠原諸島 各島の医療介護資源」の作成
	(7) へき地医療拠点病院運営費補助(令和5年度開始)	・予算額 24,379千円(広尾病院) 画像電送システムによる診療支援、島しょ医療研究会の開催	・予算額 14,618千円(広尾病院) 画像電送システムによる診療支援、島しょ医療研究会の開催	・実績額 10,506千円(全島しょ町村)
	(8) へき地におけるデジタル技術を活用した医療提供体制の充実 ・空路急患搬送時の情報共有(令和5年度開始) ・5Gを活用した島しょ遠隔医療(都立広尾病院-町立八丈病院間)	・急患搬送時に医師間で使用するコミュニケーションツールを運用 ・引き続き実施予定	コミュニケーションツールを島しょ医療機関11施設及び都立病院4施設に導入 ・実施件数 6件	・実績額 10,506千円(全島しょ町村)
IV 普及啓発	(1) へき地医療支援機構による広報活動 ・各種ホームページによる求人・求職情報の発信 ・各種イベント参加による情報発信	・へき地医療支援機構ホームページの更新(随時) 看護フェスタ等各種イベントに出展予定	・へき地医療支援機構ホームページの更新(随時) 愛らんどフェア(春)や看護フェスタなど各種イベントでの相談ブース出展 アイランダーでのポスター設置	・へき地医療支援機構ホームページの更新(随時)、支援機構通信の発行 島じまん2023や看護フェスタなど各種イベントでの相談ブース出展 アイランダーでのポスター設置
	(2) へき地医療拠点病院による広報・研究活動	・研究会開催予定	・第20回島しょ医療研究会開催(R6.11.29)参加者 45人	・第19回島しょ医療研究会開催(R5.11.24)参加者 56人
	(3) へき地医療従事者の開拓	・東京都地域医療医師奨学生(特別貸与)に対する講義等の実施 講義1回、現地研修1回(三宅島を予定)	・東京都地域医療医師奨学生(特別貸与)に対する講義等の実施 講義1回、現地研修1回(三宅島)	・東京都地域医療医師奨学生(特別貸与)に対する講義等の実施 現地研修1回(奥多摩町)